

「緑の島 見島!!」

見島はいつの間にか緑一色の島になっていました。海もだいぶ穏やかになってきました。吹く風は心地よく、1年の中でも最もよい季節を迎えています。

さて、希望に満ちた4月から、やや息切れしやすい5月になりました。学校でも、職場でも、意欲がかげり始めるのは、誰にも起こりうることです。どの学校でも、毎年この時期に問題行動が発生したり、登校をしづる児童生徒が出てきたりする傾向があります。学校では全教職員が鋭敏に、また幅広くアンテナをはり、子どもたちの言動を注視しています。



緑の島 見島（宇津方面から）

各ご家庭におかれまして、子どもたちの様子をよく観察され、内面の把握をお願いいたします。また、ご自分の体験談等を話され、励ましていただきたいと思います。

「小中一貫教育のキャッチフレーズ」ふたつの進捗状況

学校だより4月号、PTA総会でもお知らせしました、「小中一貫教育のキャッチフレーズ」のふたつについて、これまでの取組状況をお伝えします。

～縦割り班で自治力を育てます～

- 1学級当たりの人数が少ないので、小中学校の児童生徒12名を校種・学年・性別を考慮して、6人と6人の2グループに分けることにしました。

1班			2班		
◎○○	○○(中)		◎○○	○○(中)	
○○	○○(中)		○○	○○(中)	
○○	○○(中)		○○	○○(中)	
○○	○○(小)		○○	○○(小)	
○○	○○(小)		○○	○○(小)	
○○	○○(小)		○○	○○(小)	
◎班長	男子○名	女子○名	◎班長	男子○名	女子○名

- 6人のグループで、「毎日の清掃活動」「毎日の給食準備・会食・片づけ」「文化祭」「合同運動会」「花壇づくり」「ミシマウォーク」を行うことにしています。



1班の給食の様子



2班の給食の様子



委員会の話し合い（縦割り班ではありません）

～少人数指導で学力を付けます～

- 授業に対する心構えをきちんと身に付け、日々の授業に臨んでほしいと思っています。小中一貫教育校になったことから、発達段階に応じたものになっているか「学習のきまり」を再確認・再構成しました。

[基礎期] 小1～小4

- ・学習用具をじゅんぴして まつ (小1・2)。 ・復習をして待つ (小3・4)。
- ・しせいをよくし、礼や返事をきちんとする。 ・さいごまで、きちんと話す (小1・2)。
- ・理由を付けて、整理して話す (小3・4)。 ・話している人に体を向けて聞く。反応する。
- ・えんぴつを正しくもち、ていねいに書く。

[成長期] 小5～中1

- ・予習をして待つ。 ・姿勢をよくし、礼や返事をきちんとする。
- ・共通点や相違点をふまえて、簡潔に話す。 ・自分の考えと比べながら聴く。反応する。
- ・筆記用具を正しく持ち、丁寧に書く。

[巣立ち期] 中2～中3

- ・復習をして待つ。 ・姿勢をよくし、礼や返事をきちんとする。
- ・相手に伝わるように(顔)、簡潔に話す。 ・自分の考えと比べながら訊く。反応する。
- ・筆記用具を正しく持ち、速く丁寧に書く。

- 本校の子どもたちの課題の一つであるコミュニケーション能力の育成のため、**昨年度以上の頻度で「かかわりあいのある授業」**を行うことにしました。「かかわりあいのある授業」は一人しかいない児童生徒の学級でも、下記のような工夫により取組が可能であると考えています。

- 授業者が様々な考えを児童生徒に伝える。 ○生徒が授業後、教員や児童生徒に質問する。
- あいている教員が授業に入り、児童生徒と話し合う。
- 教科書や教材と対話させる。 ○保護者や地域の方に、児童生徒役として入っていただく。

5月の全校集会では、児童生徒に対し、これから「授業がかわること」、そして、先生や友だちの発問や考えに対して「**自分の考えを積極的に発表(発言)しよう。**」という話しを研修主任(松本 英一教諭)よりしました。また、授業の受け方について、教務主任(油利 浩志教諭)が授業者に、他の6人の先生方が児童生徒役にふんして、劇を行いました。



授業の初め

授業者は、その授業で何を学習するのか、わかりやすく伝えます。



活動の場面①

児童生徒は自分の意見をグループの仲間をしっかり伝えます。



活動の場面②

授業者は活動が進むよう様々な支援をします。

ご家庭で、「縦割り班」や「授業」に関することを子どもさんに質問等されていただけると、実際の様子がおわかりになると思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

